



内藤博夫教授略歴

学 歴

- 昭和33 (1958) 年3月 東京都立立川高校卒業
昭和37 (1962) 年3月 東京大学教養学部教養学科人文地理学分科卒業
昭和39 (1964) 年3月 東京大学大学院数物系研究科修士課程地理学専攻修了
昭和39 (1964) 年8月 東京大学大学院数物系研究科博士課程地理学専攻中途退学

職 歴

- 昭和39 (1964) 年8月 東北大学理学部文部技官
昭和41 (1966) 年4月 東北大学理学部助手
昭和45 (1970) 年4月 お茶の水女子大学文教育学部専任講師
昭和48 (1973) 年4月 お茶の水女子大学文教育学部助教授
お茶の水女子大学大学院人文科学研究科担当
昭和60 (1985) 年9月 文部省在外研究員 (ワシントン大学・ロンドン大学、昭和61年7月まで)
昭和63 (1988) 年4月 お茶の水女子大学文教育学部教授
平成 4 (1992) 年4月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科担当

学会活動

- 昭和39 (1964) 年9月 東北地理学会幹事 (昭和45年3月まで)
昭和46 (1971) 年4月 経済地理学会幹事 (平成3年3月まで。昭和59年4月から昭和60年3月まで代表幹事)
昭和49 (1974) 年4月 日本地理学会編集専門委員 (昭和51年3月まで)
昭和53 (1978) 年4月 日本地理学会評議員 (昭和59年3月まで。昭和55年4月から昭和57年3月まで常任委員)
昭和57 (1982) 年10月 日中地理学会議幹事 (昭和58年3月まで)
昭和58 (1983) 年4月 日中地理学会議事務局長 (平成8年3月まで)
昭和63 (1988) 年4月 日本地理学会編集専門委員 (平成2年3月まで)
平成 3 (1991) 年4月 日中地理学会議副会長 (事務局長兼務、平成11年3月まで。ただし事務局長は平成8年3月まで)
平成 6 (1994) 年4月 日本地理学会編集専門委員 (平成8年3月まで)
平成11 (1999) 年3月 日中地理学会議幹事 (平成13年3月まで)

研究業績

著書

1. 『人口流動の地域構造』（共編著），大明堂，1979.

論文

1. “The Textile Industry in Hachioji, Tokyo Prefecture.” *the Science Reports of the Tohoku Univ., Seventh Series (Geography), No. 14, pp. 73-85, 1965.*
2. “Recent Development of Knitting Industry in Rural Region — in the case of Fukushima Basin —.” *the Science Reports of the Tohoku Univ., Seventh Series (Geography), No. 15, pp. 147-164, 1966.*
3. “Regional Changes of Flat Knitting Industry in Japan.” *the Science Reports of the Tohoku Univ., Seventh Series (Geography), No. 16, pp. 117-131, 1967.*
4. “Changes of Industrial Composition in Joban Region.” *the Science Reports of the Tohoku Univ., Seventh Series (Geography), No. 17, pp. 117-128, 1968.*
5. “Location of Electronic Appliance Industry in the Northern Part of Miyagi Prefecture.” *the Science Reports of the Tohoku Univ., Seventh Series (Geography), Vol. 18, No. 1, pp. 87-96, 1969.*
6. 「宮古湾の養殖業と十勝沖津波によるその災害」（共著）. 東北地理, 21巻2号, pp. 77-83, 1969.
7. 「米沢市の工業と人口変化」. 地理学評論, 46巻6号, pp. 367-378, 1973.
8. 「合成繊維市場の地域的展開」. お茶の水女子大学人文科学紀要, 23巻, pp. 91-105, 1973.
9. 「東京の工場公害と都市構造」. 東北地理, 25巻4号, pp. 201-208, 1973.
10. 「工業と労働力」. 田辺健一・福井英夫・岡本次郎編『地理学と環境』, pp. 194-200, 大明堂, 1974.
11. 「東京大都市圏の構造と動態」. 木内信蔵・川野重任編『人間と都市環境 3（広域圏）』, pp. 1-48, 鹿島出版会, 1975.
12. 「工業労働力の移動と集積」. 北村嘉行・矢田俊文編著『日本工業の地域構造』, pp. 248-260, 大明堂, 1977.
13. 「工業労働力の地域間移動—中卒就職者の場合—」. お茶の水女子大学人文科学紀要, 31巻, pp. 23-39, 1978.
14. 「高卒者の就職移動—製造業就職者を中心として—」. お茶の水女子大学人文科学紀要, 33巻, pp. 49-68, 1980.
15. 「わが国工業における労働力利用の地域性」. 『西村嘉助先生退官記念地理学論文集』, pp. 369-372, 古今書院, 1980.
16. 「工業常用労働者数の地域別推定」. 東北地理, 32巻3号, pp. 102-109, 1980.
17. “Textiles”. *Kiyoji Murata (ed.), An Industrial Geography of Japan, pp. 119-129, Bell & Hyman, 1980.*
18. 「繊維工業における原料・製品の流通」. 長谷川典夫編『流通と地域』, pp. 69-82, 1983
19. 「人口と就業構造の変化」. 和田明子編『郡内機業圏の経済地域構造の変貌』（昭和58年度文部省科学研究費総合研究A報告書）, pp. 31-39, 1984.
20. 「機業労働力と機業世帯」. 和田明子編『郡内機業圏の経済地域構造の変貌Ⅱ』（昭和59年度文部省科学研究費総合研究A報告書）, pp. 31-40, 1985.
21. “Employment in Textile Industry in Urban and Rural Areas in Japan.” *Acta Universitatis Lodziensis, Folia Geographica 6, pp. 109-119, 1985.*
22. 「人口の集積と変動」. 藤岡謙二郎監修・大明堂編集部編『新日本地誌ゼミナール 3（関東地方）』, pp. 114-126, 大明堂, 1986.
23. 「鹿島臨海工業地帯の造成」. 井出策夫・竹内敦彦・北村嘉行編『地方工業地域の展開』, pp. 66-76,

大明堂, 1986.

24. "Industrialization of Kashima Region, Japan." *Acta Universitatis Lodziensis, Folia Geographica 10*, pp. 237-249, 1987.
25. 「山梨県郡内地方における就業構造の変化」. お茶の水女子大学人文科学紀要, 43巻, pp. 23-41, 1990
26. 「ワシントン州の労働力人口」. G. H. カキウチ先生退官記念会編『アメリカ・カナダの自然と社会』, pp. 398-414, 1990.
27. 「西桂機業と地域労働市場—労働力の流失と老齢化—」(共著). 都留文科大学研究紀要, 34巻, pp. 93-115, 1991.
28. 「浜松の工業発展と地域労働市場」. 竹内敦彦・北村嘉行編『東アジアの工業と経済発展』, pp. 120-128, 1993.
29. 「都留織物業の衰退過程の分析」(共著). 都留文科大学研究紀要, 41巻, pp. 1-25, 1994.
30. 「戦後都留織物業の検証 その2—1960年代初頭の状態—」(共著). 都留文科大学研究紀要, 42巻, pp. 79-86, 1995.
31. 「地域就業構造のダイナミズム—郡内地域経済を事例として—」(共著). 経済地理学年報, 48巻, pp. 19-32, 2002.

展望・紹介

1. "Industrial Development and Trends in Geography of Manufacturing." (共著). *Shinzo Kiuchi (ed.) Geography in Japan*, pp. 149-166, University of Tokyo Press, 1976
2. 「地域人口に関するコーホート分析とその図的表現」. 式正英編『表現に関する研究報告』, pp. 47-53, お茶の水女子大学表現研究会, 1980
3. 「人口」. 経済地理学会編『経済地理学の成果と課題 第三集』, pp.166-175, 1984